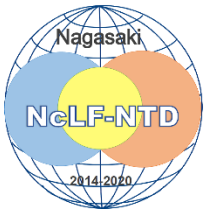


長崎大学 熱帯医学研究所 フィラリア NTD 室 活動報告

2016 年度

フィラリア NTD 室 ディレクター 一盛和世



現在、熱帯病の多くはその根絶、制圧に向けて対策が進められています。特にリンパ系フィラリア症(LF)は WHO の率いる世界制圧プログラムのもと、蔓延国政府、ドナー、NGO、製

薬会社、大学・研究機関らによるグローバルレベルでの産官民学連携パートナーシップによって、人類の一大事業として、着実に制圧目標へと歩みを進めています。日本にもかつて LF が蔓延していた時代ありましたが、1970 年代に根絶することに成功しました。このような経験を持つ日本には、地球人としてグローバルな視野を持てる人材を育成し、世界と協働して制圧プログラムに貢献していくことが求められています。



この目的を達成するための拠点としてフィラリア NTD 室は次の4点において活動しています。

活動内容

1. 情報データの収集および管理

LF、NTD に関する情報およびデータを世界中から収集管理

熱帯病対策に関する国内外会議・ミッションへの参加貢献

2. 国内外ネットワークの構築

ネットワークの構築、運営

パートナーシップへの日本の参加促進

3. 日本国内向け情報発信、啓蒙活動

熱帯病対策に関する講演、集会、メディア

一般市民に向けた情報の発信、資料の展示

4. 熱帯病分野の人材育成

大学生や専門家向けの講義、アドバイス

関連資料、教材の作成

各項目に従い 2016 年度の活動について報告します。

1. 情報データの収集および管理

・共同研究「Completing the End Game: Achieving Lymphatic Filariasis (LF) in the Pacific Island Countries (with James Cook University)」プロジェクトの中で太平洋諸国におけるリンパ系フィラリア症制圧完了を伝播阻止により確認するため、関係各国の資料・データを収集。Catalogue を作成し分析および解析に使用。

PacELF Way book No.2 出版に向けてプロジェクト進行中。



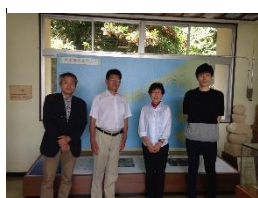
・WHO(AFRO):the forth meeting of the Regional Programme Review Group on Preventive Chemotherapy Neglected Tropical Diseases 出席, 18-20 April, Accra, Ghana

・第 3 回日経アジア感染症会議 2016「新たな官民協力による日本のイニシアチブ」パネル討議「感染症(結核、エボラ、マalaria など)対策の共通課題を解決するプラットフォームの構築に向けて」参加, 4/22, 六本木アカデミーヒルズ, 東京

・平成 28 年度第一回日本熱帯医学会理事会 出席, 5/15, 国立国際医療研究センター研究所

・WHO(SEARO):3rd Meeting of National Programme Managers for Lymphatic Filariasis and Soil Transmitted Helminthiasis 出席, 7-8 June, Bangkok, Thailand

- ・WHO(SEARO):Meeting of the SEA Regional Programme Review Group meeting 出席, 9-10 June, Bangkok, Thailand
- ・WHO(WPRO):the NTD Programme Managers Meeting 出席, 18-19 July, Manila, Philippines
- ・WHO(WPRO):the 16th Meeting of the Western Pacific Regional Programme Review Group on Neglected Tropical Diseases 出席, 20-21 July, Manila, Philippines



- ・青山学院大学飯島渉教授のフィラリア歴史研究グループによる愛媛県での実地調査および文献調査 参加, 8/18-20, 愛媛

- ・WHO(AFRO):the 5th Meeting of the Regional Programme Review Group for Preventive Chemotherapy Neglected Tropical Diseases 10-12 October, Dar-es-Salaam, Tanzania



- ・平成 28 年度第二回日本熱帯医学会理事会 出席, 11/4, 一橋講堂, 東京
- ・第 57 回 日本熱帯医学会大会シンポジウム「第 3 回男女共同参画推進委員会企画シンポジウム」座長, 11/6, 一橋講堂, 東京
- ・Uniting to Combat Neglected Tropical Diseases: The Advocacy grant Start up Working Meeting 出席, 12-15 December, London, England

2. 国内外ネットワークの構築

- ・NTD Advocacy 会議(ロンドン)に関する意見交換のため面談, 12/8, 東京
- ・NTD Advocacy 会議(ロンドン)に関する意見交換のため面談, 12/12, London
- ・JICA/JOCV 感染症対策 AG アドバイザリー・グループ参加

3. 日本国内向け情報発信、啓蒙活動

- ・公益財団法人目黒寄生虫館 特別展示(5/22-10/10)「顧みられない熱帯病を知っていますか? -リンパ系フィラリア症制圧に向けて-」監修
- ・みやクリニック講演会 講演「蚊が運ぶ病気と蚊のはなし」, 6/13, みやクリニック, 東京
- ・第 53 回 北里大学同窓会公開講演会 講演「感染症から人類を救う! - 熱帯病と闘う日々 -」, 3/12, 小田急ホテル センチュリー相模大野, 神奈川
- ・「APEX CLUB」第 42 号 “長崎大学「世界モスキートデー」イベント”
- ・「Pest Control Tokyo」2016 年 7 月号 Vol.71 “世界規模で見た蚊媒介感染症とその対策 -リンパ系フィラリア症制圧計画を例に-”

<ランチタイムセミナー> 毎月第3金曜日, 長崎大学
2015 年度に引き続き開催



- 第 12 回「フィリピン短期フィールド研修報告会」小林 涼・高井 久実子・市野 紗登美, 4/28
- 第 13 回「ヨンボ先生のコンゴのお話」ヨンボ カレンダ ダン ジャスティン, 5/20
- 第 14 回「フィールドワーク論: 人類生態学の論点」門司 和彦, 6/16
- 第 15 回「熱研むかしばなし」森田 公一, 6/17
- 第 16 回「「世界モスキートデー2016-蚊と蚊がもたらす病気について知ろう-」イベント報告会」藤岡 充史・馬場 由妃子, 9/16
- 第 17 回「『アフリカ中毒』〜3 年間のアフリカ駐在を終えて〜」小谷 昌之, 10/21
- 第 18 回「自分の強みを活かして生きていく! -ストレングス・ファインダーとの出会い-」本間 季里, 11/25
- 第 19 回「紛争地域、中低所得国の災害現場から世界を見て ~医療支援を通じて感じた

困難、高所得国の医療に対する疑問～」井ノ口 美穂,

12/16

第 20 回「風土病天国・長崎と熱研の先輩たち」市川 智

生, 1/20

第 21 回「長崎大学が計画している BSL-4 施設について」

早坂大輔, 2/17

第 22 回「仕事と家庭 ～約1年間の子育てを振り返って

～」金子 修, 3/17

4. 熱帯病分野の人材育成

・長崎大学熱帯医学研究所熱帯医学研修課程「WHO 顧みられない熱帯病対策」, 6/1, 長崎大学

・長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科熱帯医学コース「WHO NTD Program」, 6/1, 長崎大学

・長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程教育リーダーシッププログラム「Leadership Development」, 6/16-17, 長崎大学

・「おわりのはじまり-リンパ系フィラリア症制圧 日本から世界へ-」DVD 出演、監修

<一盛和世フィラリア塾> 全6回, 長崎大学



第一回 「リンパ系フィラリア症」, 4/27

・”取り除ける不幸は取り除こう！”

・虫の生き方

・生物は闘う

第二回 「英国」, 5/18

・国境のない仕事と国境”イメージ”

・最前線と後方支援

・北緯 50 度のネットアイ

第三回 「アフリカ」, 5/19

・赤道直下の熱帯

・ワイルドライフ

・人のいないところに人は住めない

第四回 「太平洋」, 5/31

・オセアニア学の話

・太平洋を旅する蚊、卵と鶏の話

・人を動かす

第五回 「WHO」, 6/1

・もうひとつのジャングル

・丸い地球、宇宙人の目、プロトコール

・世界を動かす

第六回 「プログラム」, 6/14

・科学と人々の間をつなぐ道

・誰でもわかる、砂時計

・将来への責任

<世界モスキートデイ イベント>

世界モスキートデイ2016

-蚊と蚊がもたらす病気について知ろう-

「蚊学入門」開催, 8/1, 長崎大学



「蚊学教室」開催, 8/5, 長崎大学



長崎大学 熱帯医学研究所 フィラリア NTD 室

<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/lf-ntd/>